



100歳おめでとございます

～駒水キクエさん（駒水町）

駒水キクエさんが2月2日にめでたく100歳を迎えられ、2月9日にサザンケアセンターで、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

駒水さんは、若いころから農業の仕事に励み、特に茶の生産農家として頑張っておられました。数年前まで畑に出られていたということで、この日も大変お元気な様子でした。好き嫌いなく何でも好きという駒水さん、今後もお元気でお過ごしください。



楽しい朗読に子どもたちも大喜び

～MBCアナウンサーによる本の読み聞かせ

「親子で聞こう！MBCアナウンサーによる～本の読み聞かせ～」が2月25日、南浜館で開催され、親子連れなど約130人が参加しました。

テレビやラジオでおなじみのアナウンサー、植田美千代さんと岡田祐介さんが、「花さかじい」など4つの話を楽しく、わかりやすく朗読。子どもたちは目をキラキラさせながら熱心にお話に耳を傾けていました。また、なぞなぞあそびのコーナーもあり、和やかな雰囲気の中朗読会となりました。

最後にお二人から「家に帰ったら、本を大きな声で読みましょう」と子どもたちに話していました。

公園ごみ拾い25年の親切感謝を込めて

～「小さな親切」運動が精野慎一さんに実行章

(社)「小さな親切」運動本部が主催し、親切な行為をされた方への感謝の気持ちを込めて贈られる「小さな親切」実行章が、港町の精野慎一さん(74)に贈られ、市役所で伝達式が行われました。精野さんは25年間、片平山公園周辺のごみ拾いを続けられており、その活動に対し感謝の表彰となりました。

子どもたちが遊んだりスポーツをする公園をきれいにし、一日1時間以上かけてごみを拾うのを日課とされています。たばこの吸殻やペットボトルなどが多く捨てられているということですが、最近では「犬を放したり、ふんを放置しているのが目立つ」とのこと。飼い主のマナーを守ってほしいと話していました。

「足腰が元気なうちは続けたい」と話す精野さん。大きな親切、本当にありがとうございます。



もてなしの心とやさしい笑顔で好印象を

～市観光協会接遇研修会

市観光協会主催による接遇研修会が2月15日、地場産業振興センターで開催され、枕崎市かつお公社や薩摩酒造などから約20人が参加しました。

講師はマナーアドバイザーの丸井ゆかりさん。接客態度の重要性、あいさつの仕方、敬語の使い方、電話応対などの学習をとおして、観光客に対するもてなしの心を育む研修会となりました。



市内小学校などが一体となって環境学習

～金山小学校で「環境フェスタ」

枕崎市内の5小学校と南さつま市の久木野小学校による「環境フェスタ」が2月14日、金山小学校で開催されました。参加した190名の児童が、日ごろ環境についての学習で学んだり調べたりしたことを互いに発表し合いました。

このうち、金山小学校の発表では、同校の児童が芝居仕立てでエネルギー問題やごみのリサイクルについての取り組みを報告。牛乳パックのリサイクル方法についていい考えがあればと、発表を聞いていた他校の児童に呼びかけました。このほか、各学校の児童たちも、川の浄化やごみの減量などについて、紙芝居やパソコンを使って工夫をこらした発表を行っていました。



各学校とも持ち味を十分に発揮

～第19回枕崎市表現・ダンス発表会

表現・ダンス発表会が2月23日、市民会館で開催され、市内の小・中学校から322名の児童生徒が出演し、創作ダンスなどを発表しました。

各学校がそれぞれのテーマについて、身体を思い切り使い、いきいきと表現。枕崎95名による表現ダンス「まつり」（写真）では、港まつりの活気を舞台の上から客席に飛び出して、元気よく表現してくれました。

講師の鹿児島女子短期大学・小松恵理子教授からは、改善できる点などを挙げながらも「どの学校もよく練習された成果が出されていて、すばらしいダンスでした」と語っていました。

枕崎の将来を担うかわいい後輩たちへ

～昭和57年度枕崎中学校卒業生同窓会が中学校へ寄付

昭和57年度枕崎中学校卒業生同窓会（新屋敷剛会長）の2名が2月16日、枕崎中学校、立神中学校を訪れ、「学校の運営に役立ててほしい」と、それぞれ寄付金を贈呈されました。

枕崎中学校卒業生では、毎年正月に「40歳会(同窓会)」を盛大に開催し、同級生と恩師とともに会し旧交を温めています。その会費の一部を寄付されています。



菊の一大産地、大塚へ九州各地から研修視察

～九州輪ギクサミットかごしま

九州の産地競争力の強化を目指す「九州輪ギクサミットかごしま」が開催され、2月15日に指宿で情報交換会、16日には大塚の花き団地への研修視察が行われました。

九州・沖縄の輪ギク生産者が一堂に会し、関係者を含め約180人が参加した大きな大会。情報交換会の会場には、大塚花き生産者協会のメンバーが育てた輪ギク約5千本を使った見事な花飾りが飾られ、感嘆の声が上がりました。現地研修では、参加者たちがビニールハウスへ入り見学。品種などについて熱心に質問していました。